



2020年2月3日

各 位

会 社 名 株式会社 荏原製作所
代表者名 代表執行役社長 浅見 正男
(コード番号 6361 東証第1部)
問合せ先 執行役 経理財務統括部長 長峰 明彦
(電話 03-3743-6111)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、2019年11月13日に公表した2019年12月期の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

2019年12月期 通期連結業績予想数値の修正(2019年1月1日～2019年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	510,000	29,500	28,500	17,000	175.17
今回修正予想 (B)	522,000	35,000	35,500	23,000	238.18
増減額 (B)-(A)	12,000	5,500	7,000	6,000	—
増減率 (%)	2.4%	18.6%	24.6%	35.3%	—
(ご参考)前期実績 (2018年12月期)	509,175	32,482	31,281	18,262	179.94

業績修正の理由

売上高は、すべての事業において予想を上回ったことにより、前回発表予想の5,100億円から120億円増加し5,220億円となる見通しです。

営業利益は、すべての事業において予想を上回ったことにより、前回発表予想の295億円から55億円増加し350億円となる見通しです。

経常利益は、営業利益の増加、為替差損益及び持分法投資損益の影響等により、前回発表予想の285億円から70億円増加し355億円となる見通しです。

親会社株主に帰属する当期純利益は、経常利益の増加等により、前回発表予想の170億円から60億円増加し230億円となる見通しです。

<参考 セグメントごとの業績見通し>

		風水力事業	環境プラント事業	精密・電子事業	その他	全体
		百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
売上高	前回発表予想 (A)	321,000	67,000	120,000	2,000	510,000
	今回修正予想 (B)	323,000	69,500	128,000	1,500	522,000
	増減額 (B)－(A)	2,000	2,500	8,000	△500	12,000
	増減率 (%)	0.6%	3.7%	6.7%	△25.0%	2.4%
セグメント利益		百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
	前回発表予想 (A)	15,500	6,000	8,000	0	29,500
	今回修正予想 (B)	17,000	7,500	10,000	500	35,000
	増減額 (B)－(A)	1,500	1,500	2,000	500	5,500
	増減率 (%)	9.7%	25.0%	25.0%	—	18.6%

(風水力事業)

売上高は、前回発表予想の 3,210 億円から 20 億円増加し 3,230 億円となる見通しです。セグメント利益は、前回発表予想の 155 億円から 15 億円増加し 170 億円となる見通しです。これはポンプ事業でのプロダクトミックスによる収益の改善及びコンプレッサ・タービン事業のS&S(サービス&サポート)が伸長したことによるものです。

(環境プラント事業)

売上高は、前回発表予想の 670 億円から 25 億円増加し 695 億円となる見通しです。セグメント利益は、前回発表予想の 60 億円から 15 億円増加し 75 億円となる見通しです。これは主としてO&M事業(プラントの運転管理・メンテナンス)が伸長したこと及びコスト低減施策の早期刈り取りが実現したことによるものです。

(精密・電子事業)

売上高は、前回発表予想の 1,200 億円から 80 億円増加し 1,280 億円となる見通しです。セグメント利益は、前回発表予想の 80 億円から 20 億円増加し 100 億円となる見通しです。これはCMP装置事業の売上集中によるものです。

なお、2019 年 12 月期の期末配当については、2019 年 11 月 13 日の発表の1株あたり 30 円の予想から変更はありません。

※上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来業績に影響を与える不確実な要因に係る一定の前提に基づいています。実際の業績等は、今後様々な要因によって異なる可能性があります。

以 上